

授業コード	120237	オムニバス	
科目名	協働デザインの手法		
配当学年	2	単位数	2
年度学期	2018年度 秋学期	曜日時限	木曜4限 木曜5限
対象学科	生活	コース	
科目区分	専門科目	必選の別	選択科目
担当者	岩田 祐佳梨		
教室	W2-2F		
授業の目的	健康や生活上の課題を持つ人や地域などを対象として、当事者、保健・医療・福祉の専門職、アーティスト、デザイナー、工学技術者など様々な立場や職種の人がチームとなり協働で課題の発見・解決や創造的な構想を行うための基本的な考え方と知識・技術を学ぶ。		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健・医療・福祉の専門職、アーティスト、デザイナー、工学技術者など、様々な専門分野の特徴と多様性を理解する。</li> <li>・ 健康や生活上の課題を持つ人または地域を中心として、様々な職種が連携・協働する意義と方法を理解する。</li> <li>・ チーム形成、チームによるディスカッション、チームによるデザインの理論と手法を理解し、身につける。</li> <li>・ リフレクションの理論と手法を学び、個人およびチームでの活動の成果と課題を理解できるようになる。</li> </ul>		
	授業計画	授業時間外課題（予習および復習を含む）	
第1回	協働によるデザインの意義	協働によるデザインの意義に対する自分の理解をノートにまとめておく。（2時間）	
第2回	多職種の理解：保健医療福祉・建築・まちづくりを担う人材	保健医療福祉・建築・まちづくりに関わる職種についてノートにまとめておく。（2時間）	
第3回	保健医療福祉分野における協働	保健医療福祉分野における協働の事例を調べておく。（2時間）	
第4回	建築・まちづくり分野における協働	建築・まちづくり分野における協働の事例を調べておく。（2時間）	
第5回	建築家・アーティスト・デザイナー・工学技術者による協働	建築家・アーティスト・デザイナー・工学技術者による協働の事例を調べておく。（2時間）	
第6回	チーム形成の理論と手法	チーム形成の理論と手法についてノートにまとめておく。（2時間）	
第7回	チームによるディスカッションの理論と手法（1） 情報・アイデアの抽出	情報・アイデアの抽出に関する理論・手法についてノートにまとめておく。（2時間）	
第8回	チームによるディスカッションの理論と手法（2） 情報・アイデアの共有・統合	情報・アイデアの共有・統合の理論・手法についてまとめておく。（2時間）	
第9回	チームによるディスカッションの理論と手法（3） チーム活動のマネジメント	チーム活動のマネジメントに関する理論・手法についてノートにまとめておく。（2時間）	
第10回	チームによるデザインの理論	チームによるデザインの理論についてノートにまとめておく。（2時間）	
第11回	チームによるデザインの手法	チームによるデザインの手法についてノートにまとめておく。（2時間）	
第12回	リフレクションの理論	リフレクションの理論についてノートにまとめておく。（2時間）	
第13回	リフレクションの手法	リフレクションの手法についてノートにまとめておく。（2時間）	
第14回	まとめ	授業で学んだことをノートにまとめておく。（2時間）	

評価方法と基準	演習での取り組み（40%）、レポート課題（60%）
テキスト	授業中に随時配布する。
参考図書	なし
科目の位置づけ (学習・教育目標との対応)	「生活空間の設計Ⅰ」（3年春）、「専門職連携実習」（3年夏期集中）では様々な立場や分野の人との連携・協働により課題を発見・解決する演習・実習に取り組む。本科目ではその上で必要な理論・手法を学ぶ。
履修登録前の準備	「フレッシュマンゼミⅠ・Ⅱ」（1年春学期・秋学期）、「ケア空間体験実習」（1年秋学期集中）で修得した「ヒューマンケア」の考え方や人と向き合う態度について復習しておく。